

茶道通信



平成20年4月7日
ともしび保育園

きりんぐみの時から、楽しみにしていた『**お茶のおけいこ**』が、始まりました。

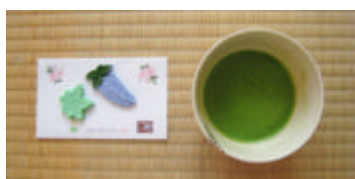
このお部屋は、初めて入った何だか不思議な空間の『**お茶室**』なのです。よく知っているひよこ組みの隣の和室です。かしこまって座っている姿はいつもと違って見えるおおきくなつたぞうぐみさんですよ。



4月は、お茶室の中のお道具の名前を覚えました。お茶室には、**お軸**、**お花**が飾ってあり、美味しいお干菓子もそれぞれ毎月変わります。季節感を大切にするためです。又、お茶室は、保育室と違って畳がひいてあって、へりを踏まないように歩く約束もしました。

これから毎月のお茶のおけいこを通して、**お互いを思いやる心を深め、お道具を大切に扱うこと**を伝えて行けたらと思っております。

* 4月のお干菓子



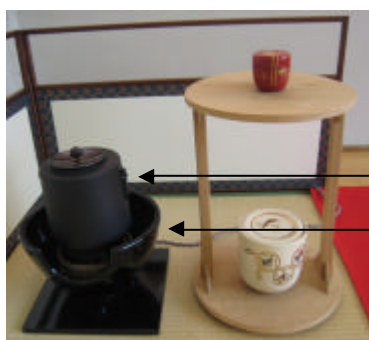
“藤の花” “青楓”

* 4月のお花



- * 山吹やまぶき
- * 都忘れみやこわすれ
- * 蔓桔梗つるききょう

園庭には季節ごとに、きれいなお花が咲きます。これからの毎月のお茶室のお花は、園庭に咲いているお花です。きっとお花の名前もたくさん覚えることでしょう！



今月の覚えたお道具

- * **お釜** (お茶を点てるお湯が入っています。)
- * **お風炉** (お湯をわかす火がついています。)

お茶のおけいこは、特別のことではありません。日常生活の中の一場で、相手を思いやり、気持ち良く楽しんでその時を一緒に過ごすことのためには、今何をどうしたらいいのかを感じ取られればと願っています。

そして、四季に恵まれた日本なのに、現在、食べ物や、花屋さんの花から季節感がなくなってきています。茶道を通して自然現象にも又、生活の場のすべてにも目を向けられる人に育てて欲しいとねがっています。